

事業について

石油事業

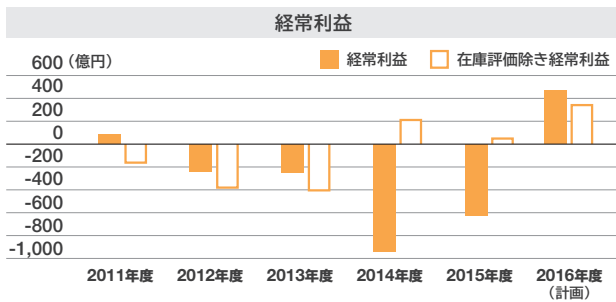


事業概要

石油事業は、コスモ石油による石油精製事業、コスモ石油マーケティング主体の石油製品販売事業およびリテール事業から構成されます。石油精製事業においては、千葉製油所における東燃ゼネラル石油との合弁会社である京葉精製共同事業合同会社の設立、四日市製油所における昭和シェル石油グループとの事業提携など、アライアンスによる

競争力の強化を進めています。石油製品販売・リテール事業については、国内石油需要が減少する中で燃料油マージンを主な収益源とする事業形態から「カーライフ価値提供業」へのビジネスモデルの転換を図るべく、個人向けカーリース事業への取り組みを強化しています。

業績推移



油価下落による在庫評価損の影響で、2015年度のセグメント経常利益は前年比307億円改善の628億円の損失となりました。なお、在庫評価の影響(▲686億円)を除く経常利益は、前年比162億円減益の58億円でした。2016年度は、千葉製油所の2年ロングランの実現による稼働メリットおよび整備コストの適正化による利益改善効果を約70億円見込んでいることなどから、在庫評価の影響を除く経常利益は前年比292億円増益の350億円を見込んでいます。

石油精製事業

コスモ石油は、千葉、四日市、堺の全国3カ所の製油所を保有し、他社とのアライアンスの推進を中心に、製油所ごとの競争力強化をめざしています。千葉製油所では2016年度から2年ロングランを開始し、約70億円の収益改善を見込んでいます。また、堺製油所では既にコーカー(重質油熱分解装置)を導入し、競争力強化が図られています。2017年3月末を期限とするエネルギー供給構造高度化法については、四日市製油所における昭和シェル石油グループとのアライアンスで対応を実施する方針です。

堺製油所

10.0万BBL/日

2次装置投資による競争力強化

- 2010年、コーカー稼働開始
- 製品付加価値向上

旧坂出製油所 ※2013年7月閉鎖

14.0万BBL/日

オイルターミナル化

- 合理化効果：約100億円



当社原油処理能力

45.2万BBL/日

国内シェア

11.8% ※2016年5月末時点

トッパー稼働率

83.2% 全国平均82.8% ※2015年度実績

千葉製油所 (第1トッパー、第2トッパー)

22.0万BBL/日

※東燃千葉工場 (旧KPI、15.2万BD) と 2015年1月に共同事業会社 (JV) 設立

JVによる競争力強化

- 共同事業開始
- パイプライン建設着手
- パイプライン完成後、JVへ精製設備を一元化 → JVがトッパー1基削減 (予定)

両社シナジー：100億円/年

製品付加価値向上、設備合理化

四日市製油所 (第5トッパー、第6トッパー)

13.2万BBL/日

※昭和四日市石油 (25.5万BD) と事業提携

事業提携による競争力強化

- トッパー1基停止 (予定) ・設備合理化
- みなし原油精製委託

両社シナジー

製品付加価値向上、設備合理化



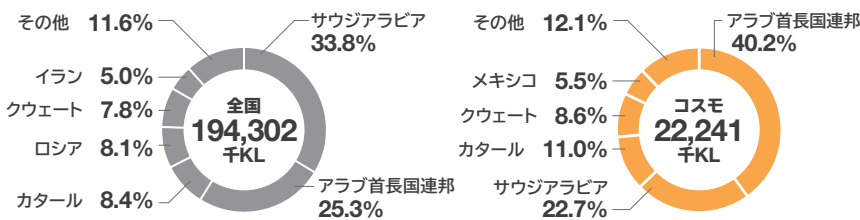
石油製品販売事業

コスモエネルギーグループは燃料油4品（ガソリン、軽油、灯油、A重油）の国内販売において約11.4%※のシェアを有しています。全国3,054カ所※のサービスステーション（SS）のネットワークを生かし、ガソリン・軽油に加えて車関連市場の取り込みを強化しています。その核となる個人向けカーリース「コスモスマートビークル」の累計契約台数は、前年から8,361台増加し27,401台※となりました。

※いずれも2016年3月末時点

主要な指標

2015年度国別原油輸入比率

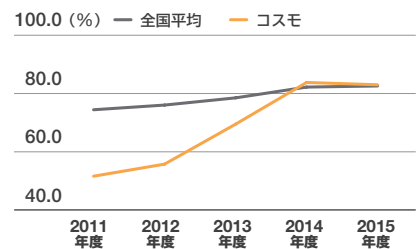


※輸入比率5%未満の国をその他としています。
※全国データ出典：石油連盟「原油国別・油種別輸入」統計

国内石油製品販売数量

	(千KL)					2015年度販売シェア
	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	
ガソリン	6,249	5,999	6,053	5,722	5,673	10.7%
灯油	2,416	2,246	2,261	1,941	1,823	11.4%
軽油	4,615	4,414	4,399	4,150	4,133	12.3%
A重油	2,196	1,963	1,847	1,555	1,420	12.0%
4品合計	15,476	14,622	14,560	13,368	13,049	11.4%
ナフサ	6,224	5,916	6,556	6,240	6,204	13.4%
ジェット	477	476	486	468	519	9.5%
C重油	2,555	2,993	2,038	1,663	1,578	11.1%
燃料油合計	24,732	24,007	23,640	21,739	21,350	11.8%

稼働率（CDベース）



※全国平均データ出典：経済産業省 資源エネルギー庁

SS数・セルフSS数

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2015年度セルフ比率
コスモSS	3,498	3,325	3,228	3,133	3,054	—
コスモセルフSS	1,007	999	1,011	1,031	1,036	33.9%
全国SS	37,743	36,349	34,706	33,510	32,333	—
全国セルフSS	8,596	8,862	9,275	9,530	9,728	30.0%

※SS数はセルフSS数を含む
※全国SS数出典：経済産業省 資源エネルギー庁、全国セルフSS数出典：石油情報センター

長期の企業価値創造のための取り組み

「コスモスマートビークル」として展開している個人向けカーリース事業では、メンテナンス費用や税金を含めた費用を月々定額で支払うことができ、燃料油が割引になるなどのメリットがシニア層や女性に支持され、契約台数を大きく伸ばしています。国内のガソリン・軽油の市場は9兆円程度ですが、車両販売や車検、保険などを含めたカーライフ関連市場全体の規模は約36兆円と推定されます。1日にコスモ石油のSSを訪れるお客様は約50万台と、既存のリース会社と比べて接客頻度が圧倒的に高いことを活用し、カーリース事業を軸に約440万件の会員を有する「コスモ・ザ・カード」など既存のインフラと連動させることでこの市場を取り込み、SSの収益力強化を図っていきます。

コスモスマートビークル（個人向けカーリース）
累計契約台数の推移（累計）

